

伊東鉄太郎 いとう てつたろう 翻譯家。明治二十四年生れ（一九〇一）。別名伊東  
銳太郎、伊藤銳太郎。

著譯書 『その時皇母は何をこころぬか？』（伊藤銳太郎名、昭和五年二ハ  
月）『二十世紀の動盪社』、『危機外交秘史』（伊東銳太郎名、昭和  
九年十一月）『二十世紀日本論社』、『モリス・ラシャーン著』『JAPAN  
—日本の運命』（同、昭和十年七月）『二十五世紀日本論社』、『レ・ナ  
オークナヤ作』『怖ろしき藝術』（同、昭和十一年十月）『二十四日サイレ  
ン社』、『ジヨルジユ・シメノン作』『聖アオリアン寺院の首吊男』（同、  
昭和十一年五月）『二十世紀春秋社』、『同』『リエージユの騎士』（同、昭和  
十一年五月）『二十世紀春秋社』。再刊『伊東鉄太郎名』、『二十一年十月十八日  
京北書房』、『同』『水門』（同、昭和十二年五月）『二十世紀春秋社』、『フ  
ング・ツイース作』『ロジエストウエンスキイの悲劇—白露海戦・前篇』  
（同、半田弘正共譯、昭和十二年六月）『二十世紀春秋社』、『リオン・ナオ  
イヒトワンガー著』『モメゴオ』、『一九二七年』（同、昭和十二年十一月  
十日春秋社）、『フランケ・ツイース作』『對馬海峡』（同、半田弘正共  
譯、昭和十二年五月十五日高山書院）、『ハンス・カロツサ他十七作家  
作』『捕虜・避難民—戦争傑作短篇集』（同、昭和十二年五月十八日春  
秋社）、『ヘルマン・ヘッセ作』『郷愁』（昭和十四年九月）『二十世紀青年書  
房』、『ドストイエフスキイ原作』『孤兒ネリリ』（昭和十四年九月）『二十  
世紀青年書房』、『オレスト・ミルレル編纂』  
五日日本論社）、『ベルツ著』『死と日本人』（昭和十五年二月十日青  
年書房）、『イナ・ザイデル作』『希はしき子供』全二冊（上巻・昭和十  
五年四月十九日、下巻・十月八日刀江書院）、『ハインリヒ・ヤコーブ  
作』『妻と日本人』（昭和十六年十月十五日昭森社）、『エーリヒ・オツ

トー・フオルクマン作『不滅の魂―獨逸參謀將校の記録』(昭和十七年三月二十一日日滿新興文化協會出版部)、ジヨルジュ・シメノン作『北氷洋逃避行』(昭和二十一年十一月十八日東京書房)、ハンス・ノグリ著『結婚詐欺師』(昭和二十二年四月二十日芸術社)、フイツィヤー作『女優の殺人事件』(昭和二十五年一月一日銀河文庫)等。